

增凡ノ胡桃椿及漆等ハ皆無患子ト葉ノ形相類シテ左右兩對シテ正中ニ心葉アリ唯無患子ノ
ミ心葉ナシ心葉ハ俗ニトマリ葉ト云フ

〔地錦抄附録三〕元祿年中來品々略中一木キクグンジ櫻子

〔倭名類聚抄二十〕樂 蘇敬本草注云樂魯官反漢語抄云木樂其子堪爲數珠者也

〔箋注倭名類聚抄十〕今俗譌呼如木現自說文樂木似欄欄今之棟字略中證類本草下品引無其字

子下有若干字者下有是字

〔伊呂波字類抄无〕植物附植物具樂其子堪爲數珠也樂華也蘇敬注云堪爲數珠者〔同モクレンソ〕植物附植物具

〔和字正濫抄五〕中下に濁るし

木樂子 むくれにじのき 和名に蘇敬本草注を引ていはく樂其子堪爲數珠者也和名を思へばわらはへの愛するむくろじといふ物はむくれんじの轉訛歟これを數珠にすべき事經軌の中には見えざれどもなしぬべき物なり木櫻子の事にやと見ゆれど樂と櫻と同じといはず音もかはれば初の義なるべし

〔東雅樹竹十六〕樂ムクレンジノキ略中 兒女の戲具に羽子とも胡鬼子ともいひて木樂子に鳥羽を

植し物を打揚ぐる板を羽子板とも胡鬼板ともいふ也舊説には春初に羽子つきぬれば夏に至て蚊にさゝる事なきまじなひなりといふ事あり胡鬼子の名あるが如きその謂ありぬべき事なり崔豹古今注に無患子の事をして昔有神巫能符劾百鬼得鬼則以此木爲棒棒殺之世人相傳以此木爲器用以厭鬼魅故號曰無患と見えたり我國にも其事を傳へて胡鬼子といふものを作り出せしに無患木樂其子の相似たれば竟に木樂子を用ゆる事になりしなるべしすべて此國にして荆楚之俗を傳へし事少からず胡鬼子の如きは即今此に來れる啞蘭陀人の兒戯に